

『糖尿病における動脈硬化発症のメカニズム』

動脈硬化の進展過程には、糖尿病・耐糖能障害などの代謝異常を基盤とする高血糖や凝固線溶系と深く関連し、様々な血管作動物質が関与していることが明らかになってきた。その一つとしてセロトニンに着目し、糖尿病における動脈硬化進展における役割について考察する。

『糖尿病患者における早期動脈硬化管理の重要性』

糖尿病では早期から動脈硬化が進展し、閉塞性動脈硬化症が高率に発症することが確認されている。従って早期の段階から管理することが重要であり、動脈硬化の診断や治療介入を積極的に行うべきである。



第53回日本糖尿病学会年次学術集会

The 53rd Annual Meeting of the Japan Diabetes Society

Morning Seminar  
モーニングセミナー2



■日時  
2010年5月29日(土) 07:30~08:20

■会場  
第4会場  
ホテルグランヴィア岡山 3F パール  
岡山市駅元町1番5

糖尿病における動脈硬化を考える

座長

琉球大学名誉教授 **高須 信行** 先生

演題1 糖尿病における動脈硬化発症のメカニズム

東京医科歯科大学 生命倫理研究センター 教授 **吉田 雅幸** 先生

演題2 糖尿病患者における早期動脈硬化管理の重要性

九州大学 先端融合医療レドックスナビ研究拠点 教授 **井口 登與志** 先生

モーニングセミナーは予約制でございます。  
予約をお済の方から優先的にご入場いただけます。詳細は当日ご確認ください。

共催：第53回日本糖尿病学会年次学術集会  
田辺三菱製薬株式会社



HOTEL GRANVIA  
OKAYAMA

〒700-8515  
岡山市駅元町1番5

